

清山尺

二十七日 初月

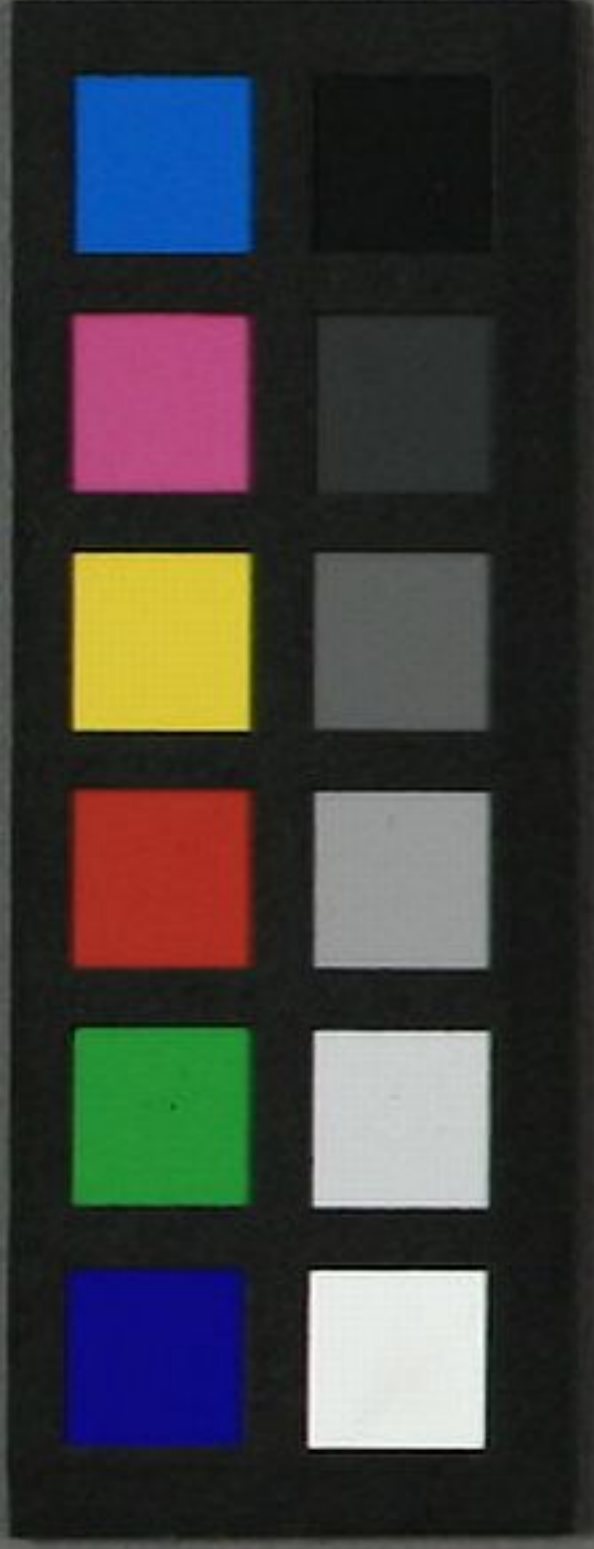
子 田

乃才を給はり一が荒波詰して小立下りて
 少く復才を道々に失快ゆり 先のハ晩餐を
 了しと欲したるも 思既去つて立上る已む
 なく其儘ゆも汝一の 彼の於にまよし
 部凌足の過き ちくく 草乃がすいみ
 圖書館に就て字して頂う 最も書押あり
 合ハうば實の存あり 試臨い
 女伴より云を親にたしらくあはえし
 未だ御れぬ小児病あり 雲のほとけら
 の事のあとのと嘆歎之を久しし

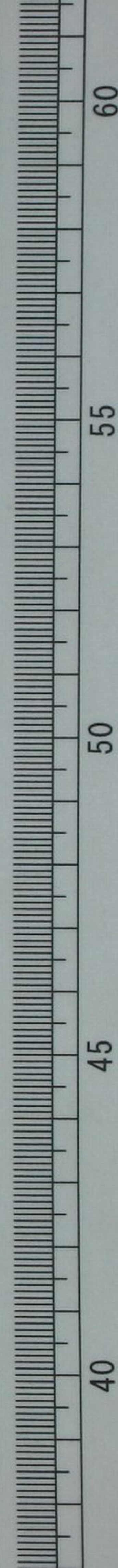


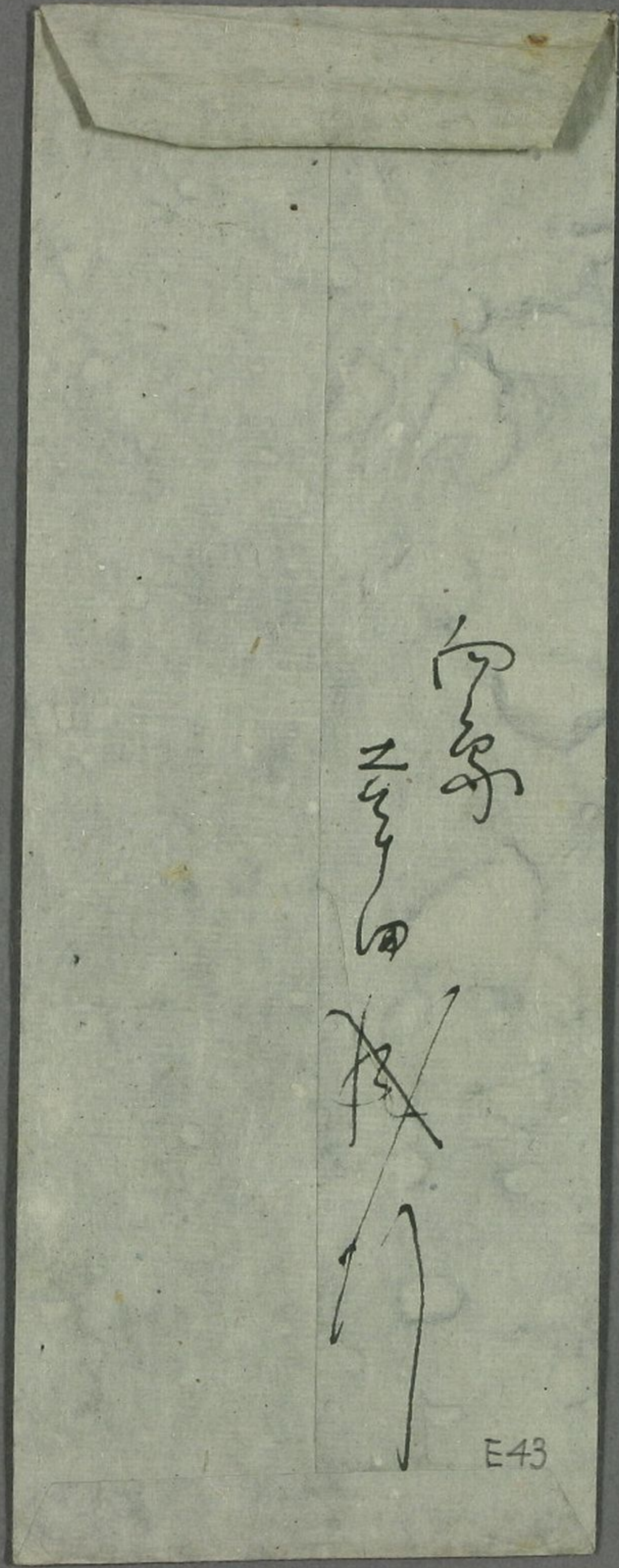
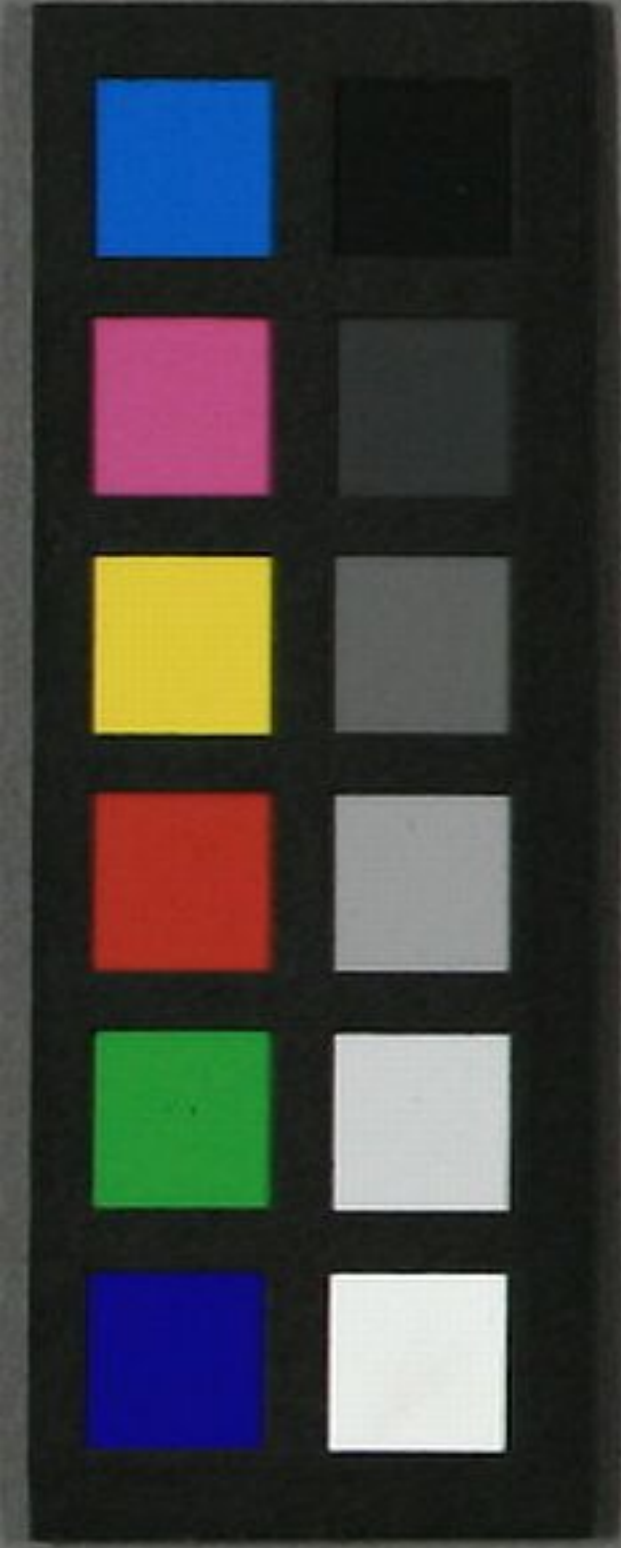
35 40 45 50 55 60





清 山 又 同 中
 稿 谷 多
 軍 日 鶴 堂 所 記
 記





Handwritten text on the envelope, including a signature and a date: "1873" and "1873".

E43

